

# 議会だより

## 一般質問

3月8日に開会された第1回定例会では、4名の議員から4件の一般質問がありました。



### 小坂議員 行政システム等でのベンダー ロックイン回避について

小坂議員  
デジタル社会、行政事務も一層のデジタル化が急務とされている。情報システムは、その多くを、企業より調達し運用されている。今現在、今後と危惧されている事は、ベンダーロックインである。ベンダーロックインとは、情報システムなどの中核部分に特定の企業の製品やサービスなどを組み込んだ構成にすることで、他社製品への切り替えが困難になることである。特定の企業への依存は自由競争が失われ価格の高止まりや品質の低下を招きかねない。ベンダーロックインは主に受注者側の問題と言われるが、発注者側にも情報収集、スキル、認識など、責任がないわけではない。ベンダーロックインについて理事者の見解を伺う。

#### 佐野町長

北竜町では、1月の臨時会において、「自治体DX推進計画」の策定等を審議いただいた。ベンダーロックインと思われる業者は、本町に5社あり、27件の契約を結んでいる。当初契約したベンダーには、北竜町の基礎データが、そのベンダーが構築したシステム上に蓄積され、簡単にデータを移行できず、ベンダーを変更する場合には、多額の費用を支払うか、最初から基礎デ

ータを入力する状況となっている。その為、専門的知識に疎く、おざなりになり、前例踏襲となり、他社との比較競争もできない事からベンダーからの提示に従っていることが危惧される。

国では、各自治体のバラバラな情報システム（主に17業務システム）について、国が策定する標準仕様に準拠した



### 中村議員 移住・定住の取り組み について

中村議員  
様々な取組が行われているが、次について伺いたい。

①平成29年度以降空き家等対策協議会は開催されていないのか。また、空き家で使用できるもの、できないもの、所有者の意向についてどの程度把握されているか。  
②お試し暮らし住宅は、これまで希望者・体験者は何件か。  
③町並み整備建築事業におい

システムとして令和8年3月までに移行するとしている。各自治体の情報システム運用経費等を3割以上削減する目標を立て、行政サービスのデジタル化による住民の利便性の向上や行政の効率化を図り、国が進めるデジタル社会の構築に向けた施策も合わせて取り組みたい。

て、国道275号線・国道233号線・道道94号線沿いで対象地域はどの範囲か。  
④中古住宅を取り壊した場合の奨励金等あるのか。また空き家の取り壊しについて、景観等の観点から今後の対策についてどう考えているか。  
⑤出産祝い金・入学祝い金の基準設定の考え方を伺いたい。

#### 佐野町長

①空き家等対策協議会の目的

は、危険な特定空き家を認定すること。空き家は43件、特定空き家は1件である。特定空き家は、所有者へ適正な管理を呼び掛けている。空き家はほぼ固定化されており、有効活用されるか取り壊されている。協議会は4年間開催されていないので開催に向けて検討したい。

②お試し暮らし住宅は、平成30年に適当な空き家があり、1人が体験され現在は公営住宅に入居されている。今後については、令和3年度に整備した、定住促進住宅の有効活用を図るとともに、市街地を中心に適当な空き家があればお試し暮らし住宅として活用していきたい。

③町並み整備建築事業の対象地域は、国道275号線は、永楽園入口から町道西川岩村線までと消防第2分団詰所から加藤宅まで、国道233号線は町道碧水古作線から碧水駐在所まで、道道94号線は町道中通線から竜西農場事務所まで。概ね住宅が両側に並んでいる範囲としている。

④中古住宅を取り壊して新築

する場合(加えて、町民または北竜町に定住する場合)助成金交付に該当する。空き家の取り壊しについては、所有者の責任として管理してもらう。⑤子育て支援策については、出産祝金については「父及び母が1年以上在住し、かつ出産児を6ヶ月以上養育している者」と定めている。今後も本町に定住していただく方に支給を行う。

入学祝金は、真竜小学校入学予定者に5万円を支給している。要件は入学日に本町に住所を有することが見込まれる事。資格の失効としては入学日前の転出。返還の条件としては虚偽など不正な手段により交付を受けた場合として

#### 中村議員

空き家について、2戸紹介されているが状況はどうか。市街地の空き家は適宜、移譲されているようだが、農家地区は難しい。所有者によっては壊したくても経済的に難しい場合もあるのではないかと。近隣町では取り壊しに助成金を出しているところもある。

#### 高橋副町長

空き家1戸については数件の問い合わせがある。市街地はそれなりに動いているが、農家地区は農地と隣接している為町の介入が難しい。町内の空き家の半数近くは「譲りたい」という意向を確認している。取り壊し助成については本町では個人管理をお願いしている。

#### 中村議員

本町の景観維持の観点から何らかの助成を考慮してもいいのではないかと。ホームページで移住定住について北竜町の紹介があるが、良さを前面に出す内容を考慮してほしい。

#### 高橋副町長

指摘をいただいた部分については、他町も参考にしながら、文言写真等検討したい。

#### 中村議員

碧水地区の233号線沿いは、ほとんど家がない所があり対象地域ではないのでは。275号線の空き地は、住宅が建つと町並みが良くなるのではないかと。冬期間雪捨て場になっっているが、所有者の意向も汲んでホームページに紹

介してみてもどうか。子育て支援について、入学祝い金に比べて出産祝い金のハードルが高いのではないかと。

#### 細川住民課長

返済のないよう、継続し住んでいただけるよう確認してから支給している。

#### 佐野町長

出産祝い金は長期定住を原則としている。3〜5年の短期異動者等は対象とならない。

#### 中村議員

短期異動者は保育園児、小



藤井議員

## 水田活用の直接支払交付金の見直しについて

#### 藤井議員

令和4年から5年間、一度も水張りが行われない水田を交付対象から除外するとのことだが、本町の基幹産業である農業にとって大きな問題である。現時点での対象面積と今後5年間での復元希望面積、畦畔などの一部補修、整地な

学生の子どもがいる年代が多く、何らかの対応が必要ではないかと。町外からの移住者の転入に対しての助成についてはどうなっているか。

#### 南波総務課長

町内勤務者が、町内に引越してくる場合において子供がいれば引越越し費用を商品券で助成している。

#### 中村議員

子どもは大切である。子供にやさしい町として対策を講じていただきたい。

どの水田復元に向けた助成も含め理事者の考えを伺いたい。

#### 佐野町長

今回の制度見直しは、昭和45年以降、国の政策に従い生産調整を行い、農地集積を進めてきた本町の農業者にとって多大な影響を及ぼすものである。従前より交付金対象水



田は常時水稲耕作復旧が可能  
なものとされており、耕作の  
便宜上、一時的な畦畔除去は  
あるものの対象外となる水田  
はないものと認識している。

令和3年度、2632ha  
の水田面積の内865.4h  
a(32.8%)が交付対象  
であり、今後5年間で水稲  
作付け意向調査では452.  
2haの復元検討との回答が  
あった。永く畑作物を耕作し  
ていることを懸念する農地も  
あると思うが、関係機関と  
もに収益拡大対策に努めたい。  
対象農地追加の為の畦畔や  
水路などの整備補助について  
は現在検討していない。水稲以  
外の作付けが固定している農

地については、畑地化などの  
十分な協議の上、地域特性に  
応じた検証を行っていききたい。

#### 藤井議員

長年作付け制限があり、全  
てを稲作とできない現況で土  
地条件が悪く復元困難な水田  
も多くみられる。米どころ北  
竜として少しでも多くの水稲  
作付けが行えるよう、復元費用  
等の補填を含め、町としての農  
業者への支援をお願いしたい。

#### 佐野町長

現在、制度の変更内容に不  
明な点が多く、今後町村会や  
農業団体が一体となり道・国  
に要請活動を行っていくと  
もに、町内の水田農家を守っ  
ていく為に尽力していきたい。



尾崎議員

## 長引くコロナ禍に目指す 北竜町の優先順位は

### 尾崎議員

新型コロナウイルス感染症の発症に  
より世界規模で生活様式は変  
化した。人の流れの制限は北

竜町にも大きな影響を与え、

コロナ禍前に作成された総合  
計画とは違った見方が必要な  
のではないか。人口減少の加

速、年金減少・保険料増額か  
らの生活困窮、農業政策の転  
換に関わる農業経営不安、加  
えてコロナ禍の不安、ウクラ  
イナ戦争等、理事者の思いを  
伺いたい。

#### 佐野町長

近年、世界中で蔓延した感  
染症に加え国際的な情勢不安  
は、私たちの生活にも影響を  
及ぼしている。

ひまわり観光の振興は、本  
町まちづくりの顔とも言える  
ものであり、明るく健康的な  
ひまわりが持つイメージは、  
農業や商業にも大きな付加価  
値をつける。

次年度は本町の総合計画  
(令和元年〜令和10年度)の後  
期計画策定に向けた準備に取  
りかかる。前年度計画の検証  
や今後5カ年の計画策定に向  
けた社会情勢分析が行われる。  
ウクライナへの戦況は収ま  
る状況になく心を痛めている  
。同じひまわりを描ける町  
として少しでも支援出来る態  
勢を整えていきたい。

#### 尾崎議員

次年度は、ひまわりの里の  
準備を計画通りに進めるとい

うことで良いのか。町民がこ  
れからの計画に期待を持てる  
導きをいただきたいというの  
が今回の質問の主旨。

素晴らしい提案を建築会社  
の方々からいただいたが、ど  
んなに優れた提案でも10  
0%受け入れられるとは限ら  
ない。先行き不透明な将来に  
明るい未来を描くことは難し  
いのかもしれないし、負の遺  
産と映るのも無理もない。そ  
こで次の2点を伺いたい。

①これまでの総合計画で、町  
民の思いを反映させていたか。  
②社会情勢分析で、計画策定  
内容が変わることがあるか。  
今後丁寧な説明と町民が意見  
を言う場は設けられるか。

#### 佐野町長

①やわら保育園がそうであつ  
たように、ひまわりの里展望  
台も町民の方々と意見交換し  
進めてきた。これからも様々  
な意見を組み入れ、進める。  
②物価高騰や水田利活用見直  
しによる影響も大きく、先行  
き不透明な状況。総合的に注  
意し進めたい。

#### 尾崎議員

今後、町民が意見を言う場

を設けていただけるというこ  
とですね。

ひまわりの里総合計画につ  
いては「十分に伝わってない」  
「話し合っていない」という町  
民の声を聞く。難しい判断だ  
が、ぜひ町長の説得力のある  
言葉をいただきたい。

#### 佐野町長

町民への説明は行政懇談会  
や説明会で伝えてきた。参加  
しなければわからないことも  
数多くあり、広報等を通じて  
見ていただいている。届かな  
い部分は議員の皆さまから質  
問して知らせてもらいたい。

## 活動報告

### 【5月】

17日：北竜町開拓記念式及び  
北竜町表彰条例に基づく表彰  
式

18日：空知町村議会議長会三  
役会議

19〜20日：北海道町村議会議  
長会理事会

25日：例月出納検査（監査委員）

27日：北空知議長連絡協議会  
総会

30～31日：全国議長・副議長  
研修会

## 活動予定

### 【6月】

8日：令和4年度北方領土復  
帰期成同盟空知地方支部理事  
会・通常総会

9日：総務産業常任委員会、  
議会報告会

10日：町内行政視察

14日：北海道町村議会議長会  
定期総会

15日：議会運営委員会、戦没  
者慰霊祭

19日：第二師団創立72周年及  
び、旭川駐屯地開設70周年記  
念行事

21～22日：令和4年第2回北  
竜町定例会

29日：北竜消防演習

下旬：例月出納検査（監査委  
員）



「絶対に起きては

ならないこと」

近年、大きな事件、事故  
など長期的に報道で取り扱  
われている。知床の観光船  
の沈没事故から一週間以上、  
マスコミ等で毎日報道され  
ている。重大で非常に悲しい。  
毎日の記事で皆さんは、ど  
のように受け止めているの  
か。観光船の沈没とは別と  
しても、自分自身の周りに  
似たような事はないか。個  
人単独での考えで行動して  
いないか。

本町で起きた事も翌日の  
新聞に掲載されている。他  
人事ではない。

心からの哀悼の意を表す  
ると共に、ご冥福を申し上  
げます。  
(松永毅)